

経済事業の成長と効率化実現に向けて実動開始！



「農業者の所得向上」と「地域・JAの成長」のための自己改革タスクフォース最終報告会を10月7日、パシオンで開きました。6月に開いた全体キックオフに参加した常勤役員4人、経済事業担当部課長31人、各連合会担当者18人が出席。各部門から計19のソリューション（解決や解答）が報告されました。今後も連合会の支援、サポートを受けながら3年計画で、具体策を実行していきます。

■6月から9月まで経済事業の課題について、連合会（農林中金、県中央会、経済連、共済連）と協働して施設視察、各部門でのヒアリングを実施し、図表や数値データによる経営状態の客観的分析や解析を行い、会議を重ねてきました。数値を示すことで、新たな観点・着眼点で具体策が見えてきました。それを踏まえ、部門ごとに実行計画のロードマップを作成しました。

これからは担当職員がソリューションというバトンを受け継ぎ、一つひとつ実行に移していきます。連合会の支援チームと共に、今後も実行計画の進捗、実績を確認する会議を毎月1回行い、ソリューションの実現に向けて進めてまいります。

■報告会では、これからの実践に向けて鍋島誉一営農部長、渡邊昇生活部長が「これからがスタート。地域密着を基本とし、営農経済事業の改革を進めなくてはならない。時代や環境の変化に対応しながら、全役員が情熱をもって、この取組みを成功に導いていこう」と決意表明を行いました。最後に、三角修組合長が「経営理念である未来永劫に変化成長を加え、組合員、利用者の理解と協力を得て、必ずやり遂げるという強い意思を持って進めてほしい」と締めくくりました。

菊池地域の農業とJA菊池が未来永劫であるために、
皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。